

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	看護学科																
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)																
指定講座番号	0	8	1	0	0	0	7	—	1	5	1	0	0	1	1	—	3
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間					過去一 年の講 座実 績		入講者数(40人)				修了者数 (38人)					
平成27年4月1日	令和6年3月31日																
訓練期間	36ヶ月							総訓練時間				3, 000時間					

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	☒ 業務独占資格・名称独占資格 () ☐ 職業実践専門課程 () ☐ キャリア形成促進プログラム () ☐ 専門職大学院 () ☐ 職業実践力育成プログラム () ☐ 情報通信技術関係資格 () ☐ 第四次産業革命スキル習得講座 () ☐ 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ()
	教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	国家試験対策として、模擬試験及び補習講義(外部講師・内部教員)を計画的に実施している。就職支援に関しては、就職説明会の実施及び個人面談による指導を行っている。
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	看護師として医療機関に就労

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
科学的思考の基盤	75	看護教育の発想
人間と生活、社会の理解	240	系統看護学講座 基礎分野 心理学
人体の構造と機能	120	系統看護学講座 解剖生理学
疾病の成り立ちと回復の促進	285	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[1]
健康支援と社会保障制度	105	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保証制度[3]
基礎看護学	375	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[1]
地域・在宅看護論	135	実習
成人看護学	155	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[1]
老年看護学	90	老年看護学概論
小児看護学	105	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1]
母性看護学	90	新体系看護学全書 母性看護学①
精神看護学	75	精神看護学Ⅰ 精神保健学
看護の統合と実践	100	
基礎看護学実習	420	実習
地域・在宅看護論実習	90	実習
成人看護学実習	90	実習
老年看護学実習	90	実習
小児看護学実習	90	実習
母性看護学実習	90	実習
精神看護学実習	90	実習
看護の統合と実践実習	90	系統看護学講座 総合分野 看護の統合と実践①
合計	3,000	

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	特になし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校を卒業した者、または同等以上の学力があると認められた者を入学資格とし、かつ入学試験に合格すること。
③その他	

〔特記事項〕